関西国際空港の強化に向けた要望書

令和6年12月

泉州市・町関西国際空港推進協議会

関西国際空港の強化に向けた要望書

関西国際空港の発展と、泉州市・町関西国際空港推進協議会の諸活動の推進にご理解と格段のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

これまで、地元泉州9市4町におきましては、「地域と共存共栄する空港づくり」という関西国際空港建設の基本理念のもと、今年9月4日に、開港30周年を迎えた関西国際空港の発展とともに、空港周辺の良い環境づくりに取り組み、臨空都市圏にふさわしい泉州地域の発展に向けたまちづくりを進めてまいりました。

関西国際空港においては、関西エアポート株式会社による関西3空港の一体運営等の効率的かつ戦略的運営により、旅客数は好調な伸び率を記録し、関西経済全体の活性化や成長の牽引役として、さらなる活躍が期待されているところであります。

このような状況の中、関西国際空港では、「2025大阪・関西万博」等の国際的イベントの開催やIR開業等に向け、旅客ターミナルの大規模リノベーション工事をはじめ、インバウンドの本格的な受入と今後のさらなる需要拡大を見据えた、ターミナルキャパシティの創出により、空港の受入環境整備が着実に進められております。

併せて、年間発着回数30万回に向けた容量拡張については、国から示された飛行経路の見直し案について、地元としても、議論を積み重ね、泉州だけでなく、関西の発展のために、導入に協力することを表明することとし、今年7月の関西3空港懇談会にて、実に26年ぶりに関西の成長にとって必要な新飛行経路の導入を合意するに至りました。

関西国際空港が、首都圏空港と並び、観光立国をめざす我が国の国際拠点空港として、早期復活を果たし、また、アジアのゲートウェイとして国際競争力を備えた完全24時間運用可能な国際空港として、その能力・機能を十分発揮できるよう、成田・羽田空港と同等の国の支援をお願いいたしたく、次のとおり要望します。

令和6年12月

泉州市・町関西国際空港推進協議会
会長 上甲 誠

1. 関西国際空港の容量拡張に向けた取り組みについて

地元としては、関西国際空港の容量拡張には大いに期待する一方、就航便数の増加や陸域制限高度の引下げに伴い、地域住民に負担が増えることを懸念している。

そのため、「公害の無い空港」という関西国際空港建設の基本理念を十分に踏まえ、航空機騒音の影響を最小限とするよう、必要な対策を講じられたい。なお、騒音の影響が大きいと想定される地域に対しては特段の配慮をお願いしたい。

さらに、新飛行経路の運用後の監視体制について、騒音の状況や実際の飛行経路等の継続的なモニタリングなど、これまでの取組を堅持することはもとより、住民の生活環境を守る観点から必要な取組を付加するなど、強化を図られたい。

2. 航空需要のさらなる成長に向けた取り組みについて

現在、日本人旅客の回復は遅れているものの、旺盛なインバウンド需要に牽引され、外国人旅客数が令和元年実績を上回るなど、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況から脱却し、漸く成長軌道に戻りつつある。

引き続き、インバウンドの増加に向けた訪日プロモーションの実施や、戻りが遅いアウトバウンドの回復に向けたパスポート取得費用の値下げや海外旅行者へのプレゼントキャンペーン等に取り組まれたい。

また、関西国際空港が、関西への誘客促進と我が国全体の航空需要の拡大に資するよう、未就航都市並びに未就航エアラインの誘致、その中でも特に欧米等中長距離直行便の拡充等による航空ネットワークの充実や、羽田線をはじめとする国内主要路線の拡充等による際内乗継機能の強化に、国としても十分に配慮されたい。

3. インバウンド受入体制等空港機能のさらなる充実について

万博会期中及びその後の成長においても、旅客の円滑かつ快適な受入れが可能となるよう、グランドハンドリングや給油などの空港内事業者において、需要に応じた人材確保が図られるよう支援されるとともに、今後見込まれる国際物流の増加を見据え、事業の拡大や産業立地に向けた支援等も検討されたい。

また、空港内の旅客手続きの効率化に向け、スマートレーン等の充実支援を図られたい。

加えて、円滑な出入国審査の実現に向け、最新機器の導入をはじめ、入国審査官及び出入国手続きの誘導に従事している補助要員の増員等、適切に措置されたい。

今後の関西国際空港のさらなる機能強化をめざし、関係省庁と連携のうえ、必要な航空イノベーション推進関連予算の確保等、所要の措置を講じられたい。

4. 安全・安心の確保及び脱炭素化の推進について

航空機の安全な運航を確保するため、航空保安施設の更新や人材確保が困難となりつつある保安業務等に関し、先端技術の活用による空港警備体制の強化等が着実に実施されるよう、引き続き必要な措置や支援等を講じられたい。

併せて、安全対策として、荒天時の周辺海域における航行制限が確実に運用されるよう、徹底されたい。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、関西国際空港では、令和5年12月に「空港脱炭素化推進計画」を策定し、温室効果ガス削減に向けた取組を進めていることから、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入や水素を動力とする航空機の運航、持続可能な航空燃料（SAF）の商用化の実現、近隣市町の海域での二酸化炭素の吸収源となる藻場の創出等、関西国際空港での取組に対して必要な支援を講じられたい。

5. 泉州地域の観光振興について

泉州9市4町及び関西エアポート株式会社等では、インバウンド観光の拡大を図るべく、世界遺産である百舌鳥・古市古墳群をはじめとした地域観光資源の磨き上げや深日港・洲本港間の航路復活等に取り組んできた。令和4年度には、本協議会にワーキングを設置し、若手職員が集い、インバウンドが求める需要に応える事業や地域が創出する新たな事業の検討を行い、インバウンド向けに地域の飲食店を紹介するWEBサイトを構築し、周辺ホテル等の協力の下、広く周知している。

さらに、今年度、泉州地域における共通課題への対応を検討するにあたり、大阪府と関西エアポート株式会社など、関係機関とともに新たに「空港と共生する泉州地域の活性化に関する検討会議」を共同設置し、地域の観光振興等の具体的な取組について、協議・検討を行っている。

また、関西国際空港との近接性を活かした観光振興を図るために設立した一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューローが令和3年3月に地域連携型DMOとして登録され、「2025大阪・関西万博」の開催を契機として、国内外に向け泉州地域の魅力を発信できるよう取り組んでいるところである。

今後とも関西国際空港と泉州地域の共存共栄のため、地域が取り組む観光振興策に対する財政的支援、さらに、南泉州地域及び和歌山県紀北地域の連携による観光誘客の強化に対して、国としてインバウンド観光客へのPRや観光地域づくり、多言語化、イベントへの参加や宿泊だけでなく、多様な交通移動手段を一元的に予約・決済できるMaaS等の観光インフラの整備への一層の支援を講じられたい。

6. 関西国際空港へのアクセス強化について

関西国際空港と大阪都心部・和歌山方面とのアクセスの利便性や速達性の向上に向け、空港連絡橋の通行料金の恒久的低減化や、高速アクセス鉄道の整備を国主導により早期に具体化されるとともに、なにわ筋線の早期整備に向け、所要の措置を講じられたい。

また、空港機能の一層の充実及び防災機能強化の観点から、空港連絡橋の代替アクセスとしても有効である空港連絡南ルート of 早期具体化を図るとともに、淀川左岸線2期・延伸部及び大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線等の整備による高速道路ミッシングリンクの解消等、幹線道路ネットワークの早期形成、並びに、第二阪和国道の全線四車線以上の拡幅、京奈和関空連絡道路等の整備を図るための財源確保に向け、積極的な取組を図られたい。

7. 関西国際空港全体構想の早期実現に向けた2期事業の完全供用について

関西国際空港計画時に地元市町に対し提示された3点セット（空港の全体計画・空港の環境アセス・周辺地域整備の考え方）を踏まえ、将来の需要動向等に迅速に対応できるよう2期事業の完全供用を図られたい。

また、地元市町に対して約した事項については、責任をもって確実に講じられたい。

8. 地元市町への必要な情報提供と国としての適切な関与について

平成28年4月から関西エアポート株式会社による運営が開始されたが、地元市町に対して必要な情報提供を今後行うとともに、円滑・良好な関係が維持されるよう、国としても引き続き適切な関与に努められたい。

これまでの経緯を踏まえ、新関西国際空港株式会社によるモニタリングが適宜適切に行われるよう、国におかれても対応されたい。特に、「環境面の特別の配慮」をはじめ、環境監視、環境保全の取組、飛行経路に係る協議及び飛行経路の遵守について、地元市町への説明責任が果たされるとともに、航空当局として適切な関与に努められたい。

9. 関西3空港のあり方について

関西国際空港、大阪国際空港及び神戸空港の3空港のあり方については、国際拠点空港、世界の玄関口として役割を果たしてきた関西国際空港の本格回復と成長軌道への復帰がまず第一であり、さらなる機能強化や2期事業の完全供用を図った上で、年間発着回数30万回の実現に取り組まれたい。

一方、神戸空港は、令和4年9月に開催された関西3空港懇談会において、関西の成長の一翼を担う観点より、歴史的経緯に十分配慮しつつ、関西国際空港・大阪国際空港を補完する空港として、効果的に活用することとし、国際化が容認されたが、関西国際空港が建設された趣旨、目的、経緯等を踏まえ、関西国際空港の成長が阻害されないことがないよう、関西エアポート株式会社に対

し、そのような運営を徹底されたい。

また、大阪国際空港の長距離国内線の扱いについては、関西国際空港の際内乗継機能への影響に十分配慮したうえで、現行の運用を厳守されたい。

泉州市・町関西国際空港推進協議会

会 長	阪 南 市 長	上 甲	誠
副会長	堺 市 長	永 藤	英 機
副会長	熊 取 町 長	藤 原	敏 司
監 査	和 泉 市 長	辻	宏 康
委 員	高 石 市 長	畑 中	政 昭
委 員	泉 大 津 市 長	南 出	賢 一
委 員	岸 和 田 市 長	永 野	耕 平
委 員	貝 塚 市 長	酒 井	了
委 員	泉 佐 野 市 長	千 代 松	大 耕
委 員	泉 南 市 長	山 本	優 真
委 員	忠 岡 町 長	杉 原	健 士
委 員	田 尻 町 長	栗 山	美 政
委 員	岬 町 長	田 代	堯